

**広島県警察総務事務システム設計・構築委託業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年4月15日 9時15分から11時45分まで
2	場 所	広島県庁舎東館 13階会議室
3	出席委員	警察本部警務部警務課長 警察本部総務部会計課長 警察本部総務部会計監査官（代理：警察本部総務部会計課管理官） 警察本部総務部施設課長 警察本部総務部参事官 警察本部総務部デジタル推進課長 警察本部警務部厚生課長 警察本部警務部総務事務統括官 広島県総務局情報戦略担当部長
4	議 題	最優秀提案者の決定に関する審査
5	担当部署	広島県警察本部警務部警務課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>提出された提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、総合値が最も高い提案をした「株式会社ブレイン」を最優秀提案者として決定した。</p> <p>1 提案者 A社：株式会社ブレイン B社：北港情報サービス株式会社</p> <p>2 各委員の主な評価・選定理由 【A社：株式会社ブレイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務の目的・趣旨を的確にとらえて開発に至るコンセプトが具体的に提案されている。また、本業務を理解したうえで他県警への導入実績を踏まえた具体的な提案であり評価できる。 ・業務・機能要件全般及び新規機能について、わかりやすい説明であり、使いやすいシステムをイメージすることができたほか、当方が要望する機能を概ね具備するものであり、満足することができた。 ・設計・開発実施計画書の作成、要件定義及び設計について、他県警の実績を踏まえたシステムや作業実施体制が構築されており、信頼性が見込まれる。

- ・運用及び保守について、法改正に伴う改修を想定しており、一定のリスクを受容した提案であった。
- ・作業実施体制について、業務実績も十分であり、意見・要望などの調整事項にも対応可能であると認められる。
- ・本県警の課題に対しては、課題等に対する深い理解・認識があり、使用者目線での様々な工夫がうかがえる。なお、一部の課題については十分な説明が得られなかった。
- ・将来的なクラウド移行に向けた工夫について、データベースソフトの選定もコストを考慮したものであり評価できる。
- ・自由提案については、魅力ある内容を提案されたが、実現可能性については現時点では不確実であった。

【B社：北港情報サービス株式会社】

- ・本業務の目的・趣旨をとらえて、自社パッケージにない機能についてはカスタマイズによる対応を予定するなど、システム開発・構築意欲は評価できる。
- ・業務・機能要件全般及び新規機能について提案があったが、説明が若干わかりにくく、具体的な使用方法や業務メニューなどのイメージが難しかったが、「工夫されており評価できる。」や「管理者、操作者の目線に立ったシステム構成を提案している。」といった意見もあった。
- ・非機能要件全般及び外部連携について具体的な提案があったが、一部、「画面操作が複雑な印象がある」といった意見があった。
- ・運用及び保守について、既存パッケージを利用した構築により保守費を下げることができる点は評価できる。また、求められる保守改修について前向きな姿勢であった。
- ・作業実施体制について、各責任者が都道府県警の実績があり、担当者の専門性や類似業務の確実な実績があるものと見込まれる。なお、「構築規模に対して体制が少ないため、構築を進めるうえで不安がある」といった意見があった。
- ・本県警の課題に対しては、解決に向けた提案があり、有用な内容であった。